

昭和54年度作況一覽

えん麦	大豆	小豆	ばれいしょ	てんさい
良	やや不良	良	良	良

I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月:

上旬の気温は平年並であったが、3日、4日に積雪増21cmの時ならぬ大雪があり、中旬がやや低温、下旬はぐずつき気味の天気であったため暖冬で雪が少なかった割には降雪終りが4月17日、耕鋤初めが4月27日となり、平年よりそれぞれ4日、3日おくれた。

5月:

気温は中旬が平年より2.0℃低く、日照も少なかったが、上・下旬は高温、好晴であった。降水量は月を通じて平年の31%と少なく、乾燥した。晩霜は5月13日で平年より7日おそかった。

6月:

月平均で2.0℃平年より高く、降水量は平年に対し上旬34%中旬61%と少なかった。しかし下旬は梅雨もよう降水量は平年の280%に達し、ようやく干ばつ状態を脱した。

7月:

気温は中旬がやや低かったほかは平年並みであった。上旬は天気が不安定で降水量も平年の320%と多かった。しかし、中旬は無降水で晴冷、下旬の雨量も平年の47%で少なかった。31日は今年初めての真夏日となった。

8月:

気温は上・下旬が平年並であったが、中旬は4.1℃高かった。降水量は平年に対して、上旬59%中旬1%と少なく、また12日から18日まで7日間真夏日が続いて畑作物の水不足を来した。27日、台風11号により51.5mmの降雨があり、干ばつ状態は一応解消した。

9月:

気温は中旬が平年並み、上・下旬はやや高かった。降水量は台風12号(5日)の強風により上旬は平年の155%、中旬は平年の77%でやや少なく下旬は秋雨前線や台風16号の影響などで再び平年の160%になった。

10月:

気温は月平均で3.1℃、特に中旬は4.7℃も平年より高かった。降水量は台風16号(1日)、台風20号(19日)などにより、上・中・下旬は平年の390%台に達し、下旬はやや少なかった。台風20号は強風を伴い果樹の落果や麦類の浸冠水をもたらした。初雪は10月30日で平年より2日早かった。

以上、農耕期間(4~10月)の積算平均気温は3252.7℃で平年より198.0℃(平年の6.5%)多く、当該期間214日平均で0.9℃高かった。また5月から10月までの地下10cmの積算平均気温は3278.4℃で、平年より149.9℃(平年の4.8%)多く、当該期間184日平均で0.8℃高かった。農耕期間の降水量は739.5mmで平年より17.0mm(平年の2.4%)多かった。日照時間は1209.9時間で平年より63.3時間(平年の5.0%)少なく、農耕期間を通じて1日およそ0.3時間の減であった。

II. 昭和54年度の作況

1. えん麦 昭和54年度の作況:良

事由:播種日は4月27日で平年に比し7日早く、また播種後、寡雨に経過したが、5月上旬のやや高温と適度な降雨によって、発芽期は平年より9日早かった。その後、5月下旬以降はやや高温、寡雨に経過し、生育は一時停滞みであったが、6月下旬より7月上旬は多雨となり茎稈の伸長が著しかった。出穂は遅延し、出穂期はほぼ平年並となった。出穂時が多照、その後の寡雨な気象過程により登熟は良好で、穂数も多かった。成熟期は全般に順調な生育推移により、平年に比し3日遅れ、倒伏その他の障害は少なく、千粒重がやや重く、極めて多収となった。子実収量はa当り49.3kg、平年対比143%であった。以上により、昭和54年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		オホーツク		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.27	5.4	△7
出芽期(月.日)		5.9	5.18	△9
出穂期(月.日)		7.11	7.12	1
成熟期(月.日)		8.17	8.14	3
草丈 (cm)	6月20日	52.8	50.4	2.4
	7月20日	134.4	119.3	15.1
	8月20日	133.6	120.6	13
茎数 (本/50cm畦)	6月20日	69.3	52.6	16.7
	7月20日	40.0	40.8	0.8
	8月20日	43.6	36.3	7.3
総重(kg/a)		115.5	89.1	26.4
稈重(kg/a)		54.5	45.6	8.9
子実重(kg/a)		49.3	34.5	14.8
リットル重(g)		461	480	△19
千粒重(g)		34.7	33	1.7
子実重平年対比(%)		143	100	43

注) 平年値は前7か年中、昭和47年、53年を除く5か年平均。ただし、草丈および茎数は前5か年平均。

2. 大豆 昭和54年度の作況: やや不良

事由: 播種は平年より2日早く、播種後は適度の降雨と適温により発芽は概して順調であった。発芽後は7月上旬まで高温、多雨で生育は良好であった。7月中旬から8月中旬までは、一時冷たい高気圧により低温が続き、早中生種の一部の品種で開花受精するものが見受けられたが、8月中旬に高温が続いたため平均気温はほぼ平年並となった。しかし、降水量が極端に少なく平年の30%でやや干ばつ気味であった。開花期は「北見白」が平年並み「ユウヅル」「ユウヒメ」は2~3日早まった。8月下旬には台風くずれの影響で降雨があり、干ばつは解消された。9月に入り気温、降水量とも平年並みに経過したため、生育はほぼ順調であったが、9月下旬から10月にかけて台風の影響による豪雨のため平年より倒伏が目立った。成熟期は「北見白」で8日、「ユウヅル」で2日、「ユウヒメ」6日それぞれ平年より早かった。成熟期における主茎長、分岐数、主茎節数は「ユウヅル」の主茎長が平年より高かったほかは、ほぼ平年並みであり、着莢数は「ユウヒメ」がほぼ平年並みであったが、「北見白」「ユウヅル」でやや少なく、百粒重は3品種とも平年よりやや劣った。子実収量は「北見白」が10a当たり320kgで平年比98%、「ユウヅル」303kgでほぼ平年並であったが、「ユウヒメ」は307kgで90%の値を示した。3品種の平均は310となり、平年比95%であった。

以上により、昭和54年度の作況はやや不良である。

品種名 項目/年次		北見白			ユウヅル			ユウヒメ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.15	5.17	△2	5.15	5.17	△2	5.15	5.17	△2
出芽期(月.日)		6.5	6.7	△2	6.5	6.7	△2	6.5	6.10	△5
開花期(月.日)		7.23	7.23	0	8.2	7.3	3	7.25	7.23	△2
成熟期(月.日)		9.27	10.5	△8	10.12	10.14	△2	9.25	10.1	△6
主茎長 (cm)	6月20日	8.9	7.1	1.8	9.4	7.0	2.4	10.0	—	—
	7月20日	30.3	29.8	0.5	28.9	26.5	2.4	32.4	—	—
	8月20日	50.1	54.8	△4.7	67.3	63.1	4.2	49.1	—	—
	9月20日	50.0	55.0	△5	74.0	63.0	11.0	48.0	48.0	0.0
	成熟期	53.0	53.0	0.0	70.0	63.0	7.0	48.0	48.0	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	4.3	3.5	0.8	0.5	2.1	△1.6	4.2	—	—
	8月20日	7.1	6.2	0.9	4.5	4.9	△0.5	6.0	—	—
	9月20日	7.0	5.6	1.4	4.5	4.8	△0.3	5.5	5.3	0.2
	成熟期	7.3	5.7	1.6	4.3	4.2	0.1	5.5	5.3	0.2
主茎葉数 (葉)	7月20日	1.5	0.5	1.0	1.3	0.3	1.0	1.3	—	—
	8月20日	8.4	6.8	1.6	8.3	6.8	1.5	7.9	—	—
	9月20日	12.2	12.3	△0.1	13.2	13.4	△0.2	9.9	—	—
	成熟期	13.1	14.0	△0.9	14.7	15.1	0.4	12.1	0.0	0.0
着莢数 (莢/株)	9月20日	62.6	77.0	△14.4	43.0	59.2	△16.2	58.2	53.5	4.7
	成熟期	68.0	74.5	△6.5	48.2	52.8	4.6	54.5	53.5	1.0
子実重(kg/10a)		320	328	△8	303	306	3	307	341	△34
百粒重(g)		25.8	26.8	△1.0	40	42.7	△2.7	40	41	△1.0
虫喰率(%)		0.9	0.6	0.3	1.8	0.8	1	1.5	—	—
品質(等級)		2	2	—	2	2	—	2	2	—
子実重平年対比(%)		98	100	△2	99	100	△1	90	100	△10

注) 平年値は前7か年中、「北見白」は昭和50年、53年、「ユウヅル」は昭和48年、53年を除く5か年平均。ただし、「ユウヒメ」は前年4か年の平均。

3. 小豆 昭和54年度の作況:良

事由:播種期、発芽期ともに平年より1日早く、発芽は良好であり、初期生育はほぼ平年並であった。その後7月下旬、8月上旬が低温寡雨であったので、開花期は平年より4日おくれ、成育も抑制された。しかしその後8月中、下旬がきわめて高温、多照であり、8月下旬には干ばつ状態も解消し、9月のい入ってからも高温が続いたため、成育および着莢状況はきわめて良好となり、熟成期の草丈、分岐数、着莢数はともに平年よりまさった。成熟期9月11日で平年より3日おくれた。子実重は10a当り254kgで平年対比128%であった。百粒重は平年よりやや重く、くず豆歩合は平年並であった。病害としては小豆茎疫病が一部に発生した。

以上により、昭和54年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		宝小豆		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.22	5.23	△1
出芽期(月.日)		6.19	6.20	△1
開花期(月.日)		8.1	7.28	4
成熟期(月.日)		9.11	9.8	3
草丈 (cm)	6月20日	1.2	1.1	0.1
	7月20日	11.8	12.1	△0.3
	8月20日	41.1	33.9	7.2
	成熟期	44.3	35.1	9.2
主茎葉数 (枚)	7月20日	4.0	4.6	△0.6
	8月20日	10.5	10.8	△0.3
分枝数 (本/株)	7月20日	0.3	0.4	0.1
	8月20日	3.5	2.5	1.0
	成熟期	4.1	2.5	1.6
着莢数 (莢/株)	8月20日	34.7	31.2	3.5
	成熟期	50.7	35.2	15.5
子実重(kg/10a)		254	198	56
百粒重(g)		10.8	10	0.8
屑粒率(%)		3.5	3.9	△0.4
子実重平年対比(%)		128	100	28

注) 平年値は前7か年中、昭和50年、51年を除く5か年平均。

4. ばれいしょ 昭和54年度の作況:良

事由:播種期は平年より4~6日早く、萌芽および初期生育はおおむね順調であった。6月下旬より7月上旬は多雨、その後寡雨に経過し、開花は平年に比し2日~3日早かったが、茎葉の伸長繁茂は良好であった。とくに「男爵いも」の終花期の茎長は平年を約17cm上廻った。疫病は7月中旬以降の寡雨と8月の多照、高温により発生、まん延は遅く、「男爵いも」は罹病が極めて少なく平年よりやや遅く黄変枯凋した。しかし「農林1号」は9月に入って多雨となったため生育後期であったが疫病はまん延し、平年より7日早く枯凋した。総じて生育は順調に推移し、塊茎の肥大がよく、両品種の上いも重の平年対比はそれぞれ125%、130%と多収で、また澱粉価も高かった。
 以上により、昭和54年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		農林1号			男爵薯		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月.日)		5.4	5.8	△4	5.4	5.1	△6
萌芽期(月.日)		6.4	6.5	△1	6.7	6.9	△2
開花期(月.日)		7.5	7.7	△2	7.5	7.8	△3
枯凋期(月.日)		9.17	9.24	△7	9.4	9.2	2
茎長 (cm)	6月20日	21.0	19.5	1.5	17.3	15.7	1.6
	7月20日	68.8	58.8	10.0	55.3	45.7	9.6
	8月20日	72.4	74.2	△1.8	64.8	48.2	16.6
茎数 (本/株)	6月20日	3.1	5.0	1.9	4.0	3.1	0.9
	7月20日	3.5	4.9	1.4	3.7	3.9	△0.2
	8月20日	3.7	5.1	1.4	3.9	3.5	0.4
上いも重(kg/10a)		4,887	3,769	1,112	4,055	3,236	819
でん粉価(%)		15.8	13.5	2.3	14.5	12.9	1.6
上いも重平年対比(%)		125	100	25	130	100	30

注) 平年値は前7か年中、「農林1号」は昭和51年、52年を除く、「男爵薯」は昭和48年、50年を除くそれぞれ5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

5. てんさい 昭和54年度の作況:良

事由:根雪終、耕鋤始は平年より、それぞれ1日、4日の遅れであったが、移植期は4月28日で平年より12日早かった。移植後は乾燥と低温の日が多かったので活着が遅れ、初期生育はやや悪かった。その後6月中旬までは乾燥ぎみであったが、6月下旬～7月上旬の多雨により、土壤水分が適度となり、地上部の生育、根部の肥大はともに良好になった。

7月中旬～8月下旬は再び乾燥ぎみとなり、地上部の生育はやや鈍ったが、根部の肥大は旺盛でこの生育中期における根部の順調な肥大は、収穫期まで続いた。一方生育の障害となる病虫害の被害はほとんどみられなかった。以上、本年は初期生育がやや不良の他は、全般的に良好な生育を辿り根重、根中糖分、糖量は平年に比べそれぞれ、111%、103%、113%であった。

以上により、昭和54年度の作況は良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノドリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.2	4.2	0
移植期(月.日)		4.28	5.6	△12
収穫期(月.日)		10.15	10.19	△4
草丈 (cm)	5月20日	3.3	5.2	△1.9
	6月20日	19.6	22.7	△3.1
	7月20日	52.7	42.2	10.5
	8月20日	55.8	55.8	0.0
	9月20日	57.6	58.2	△0.6
葉数 (枚)	5月20日	3.6	3.6	0.0
	6月20日	10.5	9.8	0.7
	7月20日	17.9	17.2	0.7
	8月20日	25.5	25.1	0.4
	9月20日	30.2	27.8	2.4
根周 (cm)	7月20日	21.0	18.4	2.6
	8月20日	32.5	27.8	4.7
	9月20日	35.4	32.9	2.5
茎葉重(t/10a)		5.24	4.67	0.57
根重(t/10a)		6.12	5.61	0.51
根中糖分(%)		16.66	16.18	0.48
糖量(t/10a)		1,020	906	114
根重平年対比(%)		111	100	11
根中糖分平年対比(%)		103	100	3

注) 平年値は「モノホープ」の前6か年平均。